



シーリングスピーカー VXC4/VXC4W 取扱説明書

JA

ZE66630

日本語

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

警告

分解禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合は、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

水に注意

浴室や屋外など湿気の多いところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

注意

設置

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。
故障の原因になります。

取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行なう。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。
・この機器の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
・継続して振動があるような場所は避ける
・ほこりの多い場所は避ける
・定期的に保守点検を行なう

接続

アンプと接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。
感電、感力障害または機器の損傷になることがあります。

スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。
それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

手入れ

薬物厳禁
ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

取り扱い

この機器のバスレフポート（前面の穴）のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

この機器のバスレフポート（前面の穴）のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、お買い上げの販売店または裏面のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

音がひずんだ状態ではこの機器を使用しない。
機器が発熱し、火災の原因になることがあります。

この機器と組み合わせて使うパワーアンプを選ぶとき、パワーアンプの出力レベルとこの機器の許容入力レベル（仕様参照）が合っているかを確認する。
パワーアンプの出力レベルがこの機器の（プログラム）許容入力レベルより低い場合でも、過大な入力信号によるクリッピングが生じるときは、この機器が故障するおそれがあります。

特に、以下のような音（ノイズ）に対しては、故障や火災のおそれがありますので、ご注意ください。
・マイクフォン使用時のハウリング音
・電子楽器からの連続した大音量の音
・異常にひずんだ連続音
・アンプの電源を入れた状態でのケーブルの抜き差しによるポップノイズ

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ペンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して（機器の移動時や急激な冷暖房下など）、機器が結露しているおそれがある場合は、機器を数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- スピーカーを並列接続する場合は、必ずアンプの規定負荷インピーダンスの範囲内（仕様参照）で接続してください。アンプの故障の原因になります。
- ハイインピーダンス接続時は、各スピーカー入力の合計がパワーアンプの定格出力を超えないようにしてください。
- ハイインピーダンス接続時は、80Hz 以上のハイパスフィルターを通した信号をスピーカーに入力してください。
- 保護回路について
本スピーカーには保護回路が内蔵されています。スピーカーに過大な入力加わると、保護回路が動作して、音が出なくなります。使用中に音が出なくなった場合は速やかにアンプの音量を下げてください。数秒～数十秒で自動的に復旧します。
- 持ち手を持って振り回さないでください。
- グリルをはめたままグリルを下にして地面などに置かないでください。グリルが変形する原因となります。
- 地面などにキャビネット前面を下にして置く場合は、平坦で平滑な場所に置いてください。
- スピーカーユニットには触れないようにしてください。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

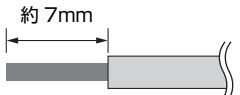
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

スピーカーの取り付け

付属の金具を使って、天井にスピーカーを取り付けます。取り付ける場所に十分な強度があることを確認してから、取り付けを行なってください。

事前準備（ケーブルの処理）

ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルにはより線を使用し、図のようにむき出して配線してください。



NOTE

断線の原因となりますので、より線にははんだめっきしないでください。

1 天井に穴を開ける

- 付属のテンプレートを天井にあて、開口のための線を描きます。
開口部の直径が合わないときスピーカーを取り付けられなくなるため、必ずテンプレートを使用方法に従ってください。

NOTE

ホールカッターを使う場合はテンプレートで直径を合わせてください。

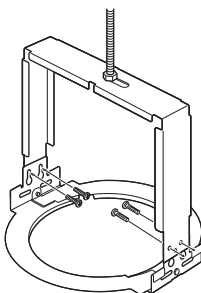
- 線に沿って穴を開けます。
穴を開ける際に、破片や粉などが目に入らないように気をつけてください。

2 ボルト吊下金具と O リングを設置する

以下の項目を実施して、ボルト吊下金具と O リングを天井裏に設置してください。
・O リングをたたんだ状態で天井裏に入れ、天井裏で展開する。
・アンカーボルトは、ボルト吊下金具を天井裏に入れ、イラストのようにアンカーボルトとボルト吊下金具と O リングを固定します。

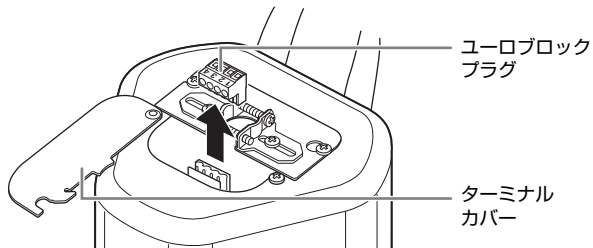
NOTE

- アンカーボルトは $\phi 10\text{mm}$ のものを使用してください。
- アンカーボルトの長さは天井まで $200\text{mm} \pm 5\text{mm}$ とするように入してください。
- ボルト吊下金具と O リングは付属のネジで固定してください。

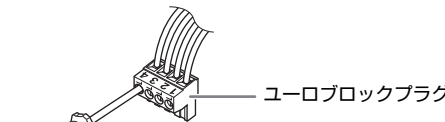


3 結線し、ケーブルが抜けないように金具で固定する

- アンプからのケーブルを開口部から引き出します。
- ターミナルカバーの右側にあるネジをゆるめてターミナルカバーを開けて、ユーロブロックプラグを取り外します。

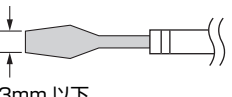


- ユーロブロックプラグの端子ネジをマイナスドライバーでゆるめたあと、各結線部にケーブルを差し込み、端子ネジをしっかりと締め付けます。
ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。



NOTE

マイナスドライバーはブレード幅が 3mm 以下のものを使用してください。



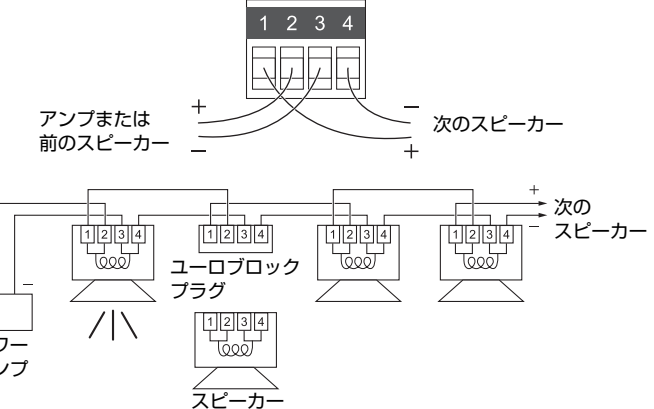
ケーブルの結線の仕方は以下の 2 種類があります。

△ 注意

ローインピーダンス接続のときは合成抵抗に注意して接続してください。

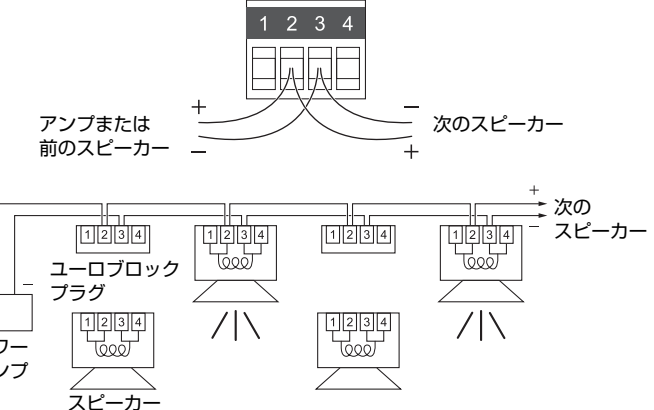
ループスルー接続

次のスピーカーに 1 と 4 を使って接続する方法です。ユーロブロックプラグがスピーカーから外れると、それ以降のスピーカーは動作しなくなります。どのスピーカーに問題が発生したのか特定しやすい接続です。

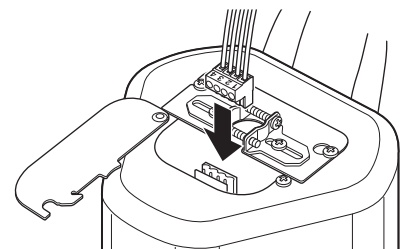


並列接続

次のスピーカーに 2 と 3 を使ってつなげ、パラレル接続にする方法です。あるスピーカーにトラブルが発生した場合でも、ユーロブロックプラグにケーブルが接続されていれば他のスピーカーは正常に動作します。

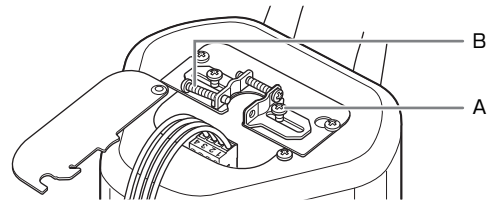


- 結線したユーロブロックプラグを本体のソケットに戻します。



- ケーブル固定金具の A ネジをゆるめます。

- ケーブル固定金具の B ネジを外します。
ケーブルをはさまない場合は A ネジをはさずして固定金具を取り外して手順 8 に進んでください。



同梱品

同梱品を確認してください。

- スピーカー × 2
- グリル × 2
- O リング × 2
- ボルト吊下金具 × 2
- ネジ × 8
- 落下防止ワイヤー × 2
- 穴開け用テンプレート × 1
- 取扱説明書（本紙。裏面に保証書が掲載されています。）

* スピーカーケーブルおよびアンカーボルトは付属していません。

仕様

形式	フルレンジ バックカン	バスレフ
コンポーネント	4 インチ (10cm)	フルレンジ
公称指向角度 (500Hz ~ 4kHz 平均)	130° 円錐状	
定格インピーダンス	8Ω	
許容入力	NOISE	30 W
	PGM	60 W
	MAX	120 W
		87dB SPL
出力音圧レベル (1W, 1m) ^{*1}		108dB SPL
最大出力レベル (Calculated, 1m) ^{*2}		80Hz ~ 20kHz
再生周波数帯域 (-10dB) ^{*1}		ユーロブロック (4ピン) × 1 (インプット: +/ -, ループスルー: +/ -)
コネクター		ワイヤー最大直径 12AWG(2.5mm ²)
トランスタップ	70V	30W, 15W, 7.5W, 3.8W
	100V	30W, 15W, 7.5W
プロテクション		ボリスイッチ
防磁仕様		非防磁型
エンクロージャー	形状	バックカン
	筐素材	鉄 1mm、黒
グリル	筐素材	HIPS
	仕上げ	バンチングメタル 鉄 0.6mm 粉体塗装
		トリムリング: ABS
		開口率 51%
寸法 (スピーカー本体のみ)		VXC4: 黒塗装 (マンセル N3 近似値)
質量 (スピーカー本体のみ)		VXC4W: 白塗装 (マンセル 9.3 近似値)
開口寸法		φ225 x 194H mm
質量 (スピーカー本体のみ)		2.6kg
開口寸法		φ186mm
取り付け可能板厚		5mm ~ 35mm ^{*3}
対応コンジチューブ		1/2 インチまで
セット		2 本セット

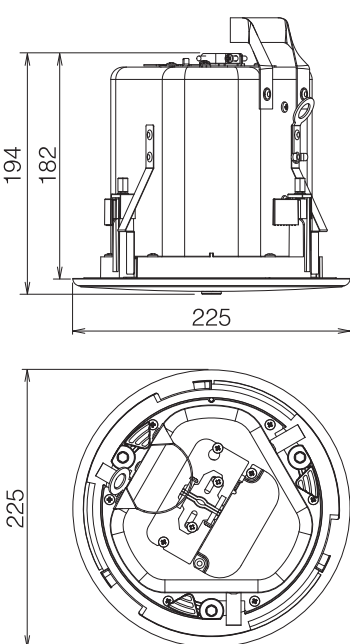
*1: ハーフスペース (2π)

*2: 許容入力と出力音圧レベルから計算

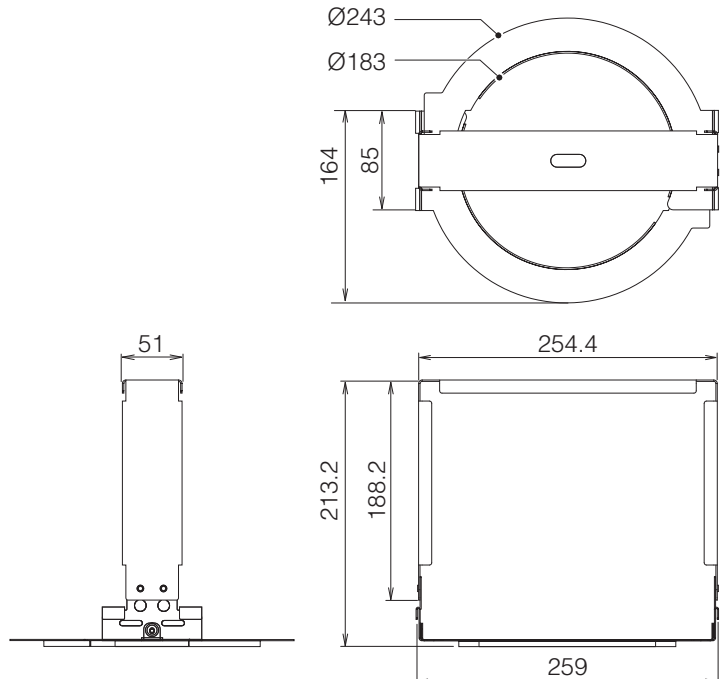
*3: アンチドロップタブが有効なのは、30mm 以下です。

寸法図

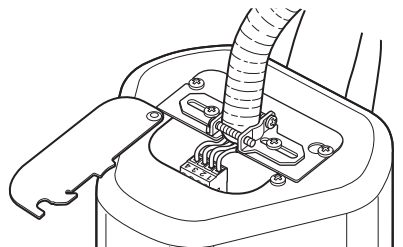
VXC4/VXC4W



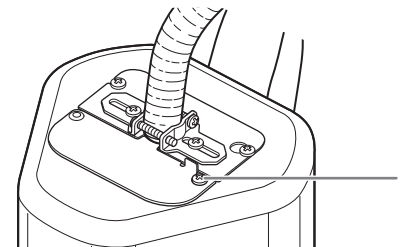
ボルト吊下金具と O リング



- ケーブル固定金具でケーブルをはさみ、ケーブル固定金具の A ネジと B ネジでケーブルを固定します。

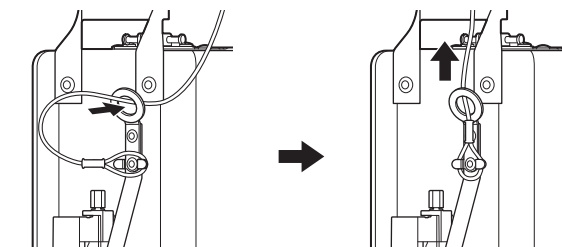


- ターミナルカバーを開いて、ネジを締めます。



4 天井に固定する

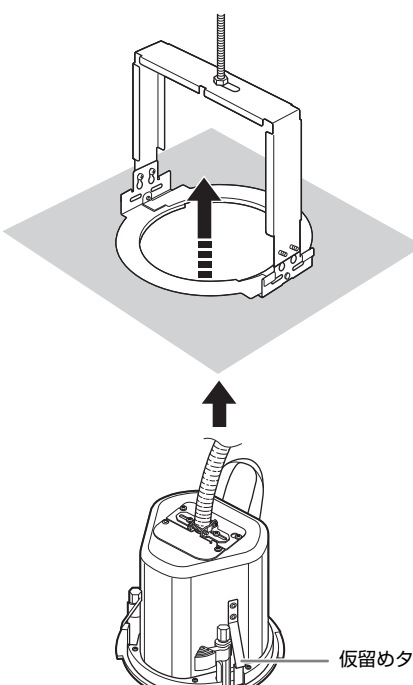
- 落下防止ワイヤー取付金具に落下防止ワイヤーを取り付け、頑丈な満形鋼などにつなぎます。



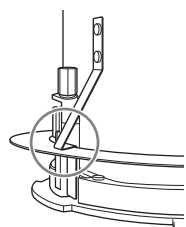
△ 注意

必ず落下防止対策を施してください。
付属の落下防止ワイヤーで長さが足りない場合は、スピーカーの重量、設置状況を考慮して適切なワイヤーをご用意ください。余裕がありすぎると、落下時に運動エネルギーがワイヤーに多くかかって断線する可能性があります。

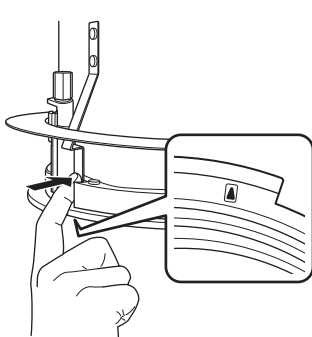
- 天井とスピーカーでケーブルを挟まないようにゆっくりとスピーカー本体を天井に押し上げます。



すべての仮留めタブが O リングを通過するとスピーカー本体が O リングに仮留めされます。手を離してもスピーカーが落下しません。

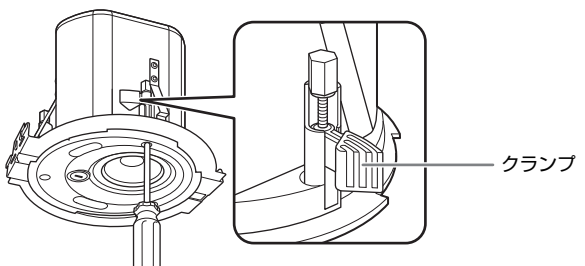


スピーカーを O リングから外す場合は、仮留めタブを押します。仮留めタブはキャビネット前面の▲マークのところにあります。



- プラスドライバを反時計回りに半周回して固定ネジをゆるめます。
クランプが溝にはまりやすくなります。

- プラスドライバを時計回りに回して固定ネジを締めます。
最初の回転でクランプが溝にはまります。ネジを回すことにクランプが下がり、天井を押さえ込みます。

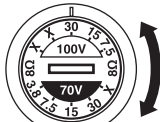


△ 注意

- 締めすぎるとネジが切れたりクランプが壊れてしまうため、固定ネジを締めすぎないようにしてください。
- ネジ穴にガイドがないネジを回さないでください。スピーカーユニットの落下や故障の原因となります。

5 伝送方式と入力ワット数を設定する

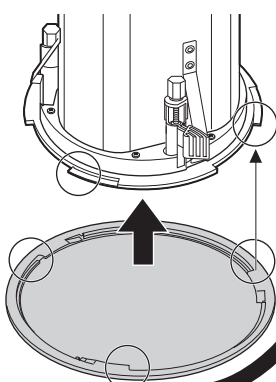
スピーカーフロント面にあるタップ選択スイッチをマイナスドライバーなどで回して、伝送方式 (100V/70V/8Ω) と 100V/70V ラインを使用するときの入力ワット数のタップを選んでください。



△ 注意

X のところには合わせないでください。また、8Ω の位置はローインピーダンスアンプと組み合わせるときにだけ合わせてください。設定を間違えるとスピーカーやアンプが故障する原因になります。

6 グリルをはめる



- キャビネット前面にグリルをあわせ、はめ込んでください。

- 時計回りに回して (約 30°)、グリルを固定してください。

△ 注意

グリルの回転が不十分だとグリルが落下するおそれがあります。グリルとスピーカー本体の取り付け部が噛み合って固定されるまでしっかりと回してください。

保 証 書

持込修理

品 名	シーリングスピーカー	
※品 番		
※シリアル番号		
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から1ケ年間
※ お 買 上 げ 日	年 月 日	
お 客 様		
	ご住所	
	お名前	
	電 話 ()	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示
の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書
など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販 売 店	店 名 所在地 電 話	()
--------------	-------------------	--

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

※ ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

※ その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



0570-050-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00～18:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5652-3634

オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX 03-5762-2125 東日本（北海道／東北／関東／甲信越／東海）
06-6649-9340 西日本（北陸／近畿／四国／中国／九州／沖縄）

修理品お持込み窓口

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル7F
FAX 06-6649-9340

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株) ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12
KDX 箱崎ビル1F

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。
使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品
フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品（搭載プログラムを含む）のご使用により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などは変更になる場合があります。

ASCAMPAMPPCA10

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/>

ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>